

決算説明会資料

～2012年3月期～

説明会開催予定日
2012年5月17日(木)

日本ハム株式会社

目次

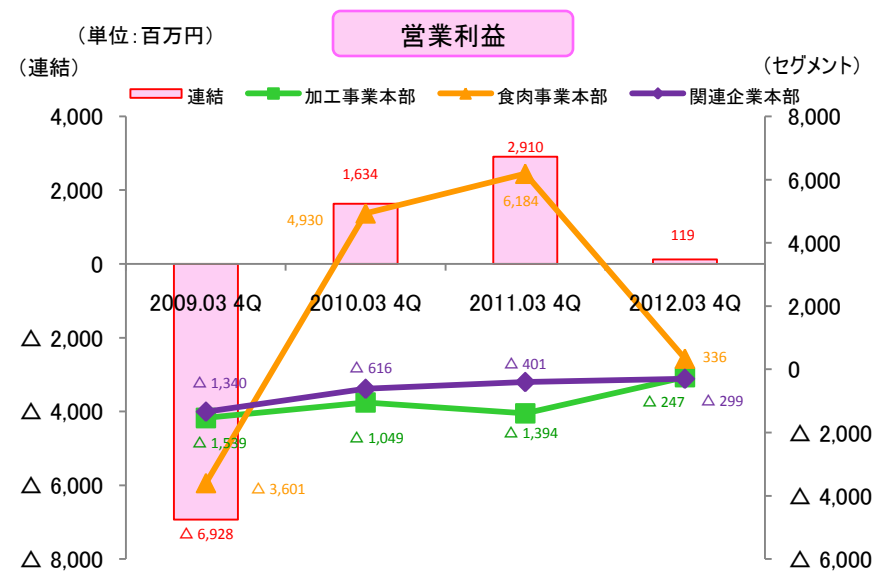
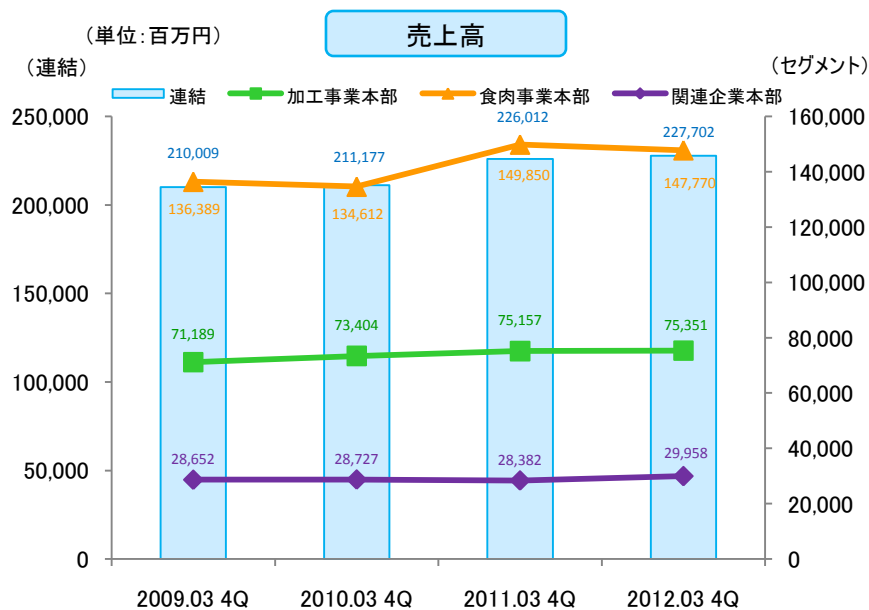
- I . 2012年3月期 期末連結業績の総括
- II . 2013年3月期の見通し
- III . 2012年3月期 期末財務データ

I . 2012年3月期 期末連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 通期累計
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別業績実績

(単位: 百万円)

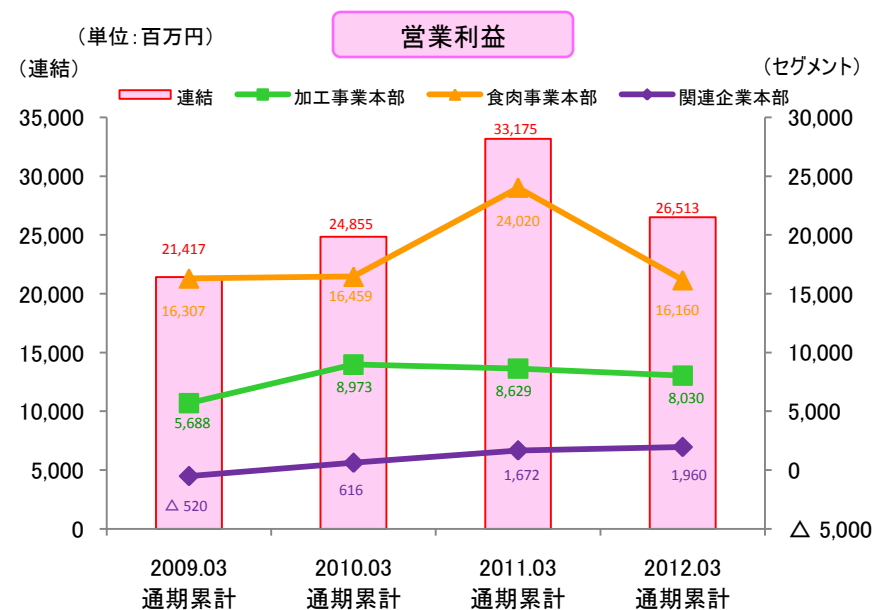
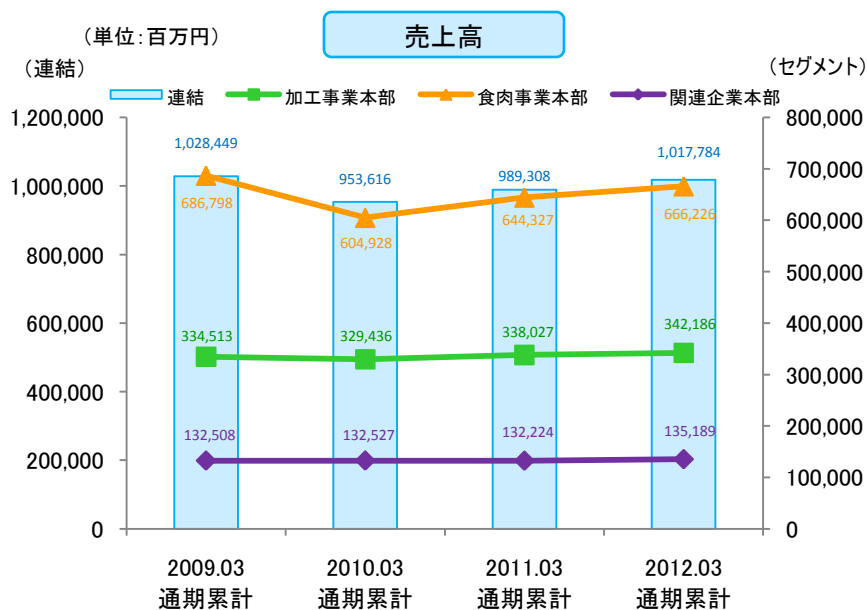
		2009.03 4Q	2010.03 4Q	2011.03 4Q	2012.03 4Q
加工事業本部	売上高	71,189	73,404	75,157	75,351
	営業利益	△ 1,539	△ 1,049	△ 1,394	△ 247
食肉事業本部	売上高	136,389	134,612	149,850	147,770
	営業利益	△ 3,601	4,930	6,184	336
関連企業本部	売上高	28,652	28,727	28,382	29,958
	営業利益	△ 1,340	△ 616	△ 401	△ 299
消去調整他	売上高	△ 26,221	△ 25,566	△ 27,377	△ 25,377
	営業利益	△ 448	△ 1,631	△ 1,479	329
連結合計	売上高	210,009	211,177	226,012	227,702
	営業利益	△ 6,928	1,634	2,910	119



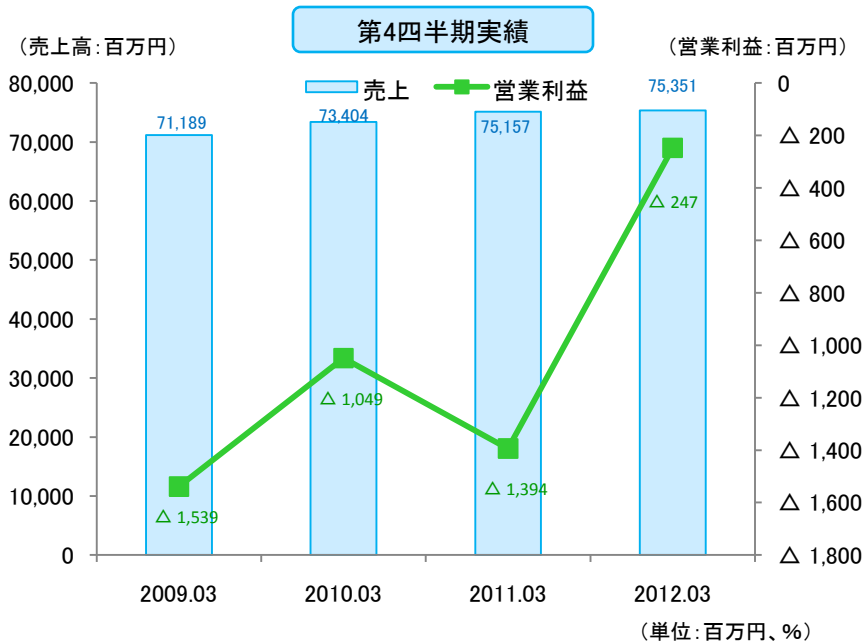
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P20の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

(単位:百万円)

		2009.03 通期累計	2010.03 通期累計	2011.03 通期累計	2012.03 通期累計
加工事業本部	売上高	334,513	329,436	338,027	342,186
	営業利益	5,688	8,973	8,629	8,030
食肉事業本部	売上高	686,798	604,928	644,327	666,226
	営業利益	16,307	16,459	24,020	16,160
関連企業本部	売上高	132,508	132,527	132,224	135,189
	営業利益	△ 520	616	1,672	1,960
消去調整他	売上高	△ 125,370	△ 113,275	△ 125,270	△ 125,817
	営業利益	△ 58	△ 1,193	△ 1,146	363
連結合計	売上高	1,028,449	953,616	989,308	1,017,784
	営業利益	21,417	24,855	33,175	26,513



※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P20の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。



	2011.03 4Q	2012.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	75,157	75,351	194	0.3
営業利益	△ 1,394	△ 247	1,147	-
営業利益率	△ 1.9	△ 0.3	-	-

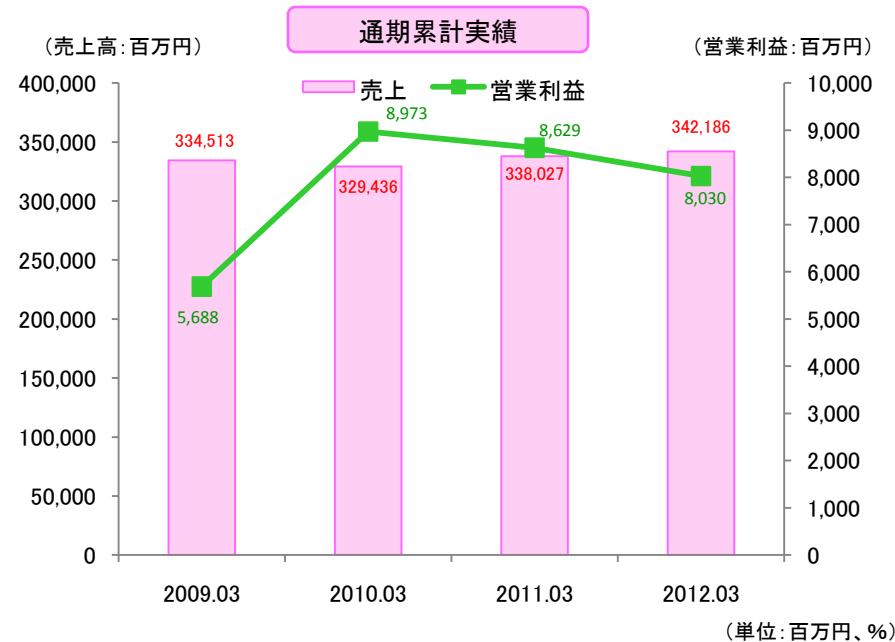
【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに数量が伸長し、増収。特に主力商品のシャウエッセンは104% (昨年比) の伸長。

(営業利益)

- ・原材料・燃料価格の高騰及び、タイの洪水等の影響を数量伸長とコスト改善効果でカバーし、増益。



	2011.03 通期累計	2012.03 通期累計	前年差	前年比
売上高計	338,027	342,186	4,159	1.2
営業利益	8,629	8,030	△ 599	△ 6.9
営業利益率	2.6	2.3	-	-

【通期累計の状況】

(売上高)

- ・2大新製品ブランド (『森の薫り新あらびきウインナー』、『彩りキッチン』) への集中取り組みで売上拡大。下期以降は主力のコンシューマ商品が伸長。

(営業利益)

- ・上期は震災影響、原材料・燃料価格の高騰があり、下期は、タイの洪水影響もあり、減益。

●トピックス(通期累計)

【原料・資材価格の上昇による営業利益への影響】

⇒価格高騰により主原料で15億円、副資材(特に羊腸等)・燃料等で17億円のマイナス要因。

【コスト改善、SCM効果】

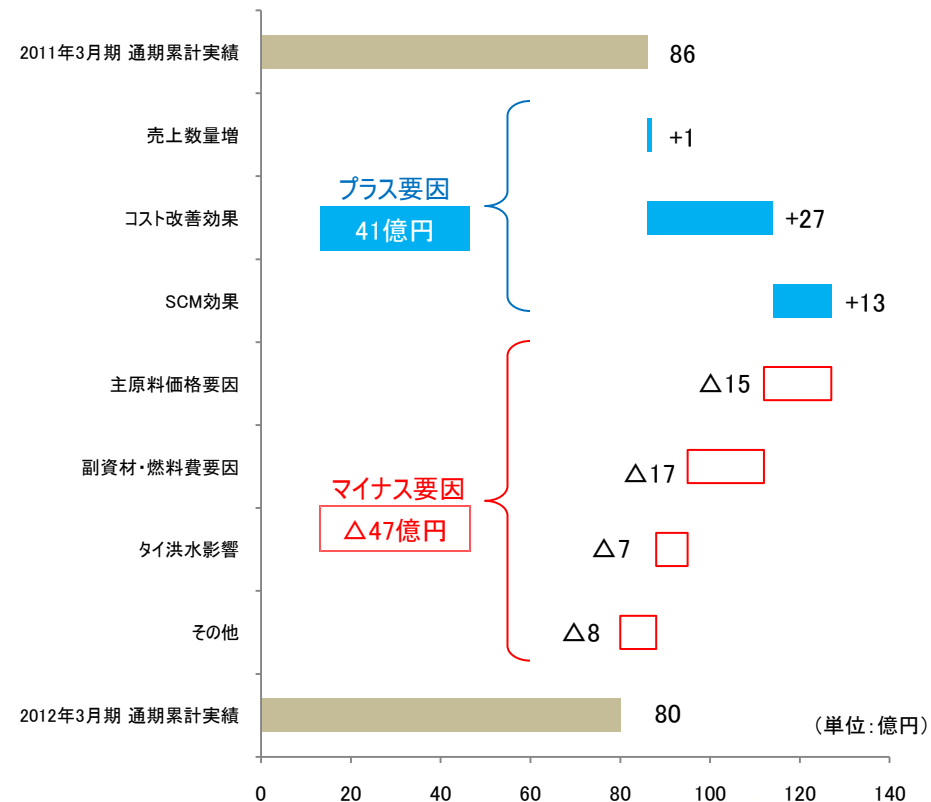
⇒震災の影響等でコスト改善効果が計画を下回ったが(計画39億円⇒実績27億円)、SCM改革の効果が前倒しで発現(計画10億円⇒実績13億円)。

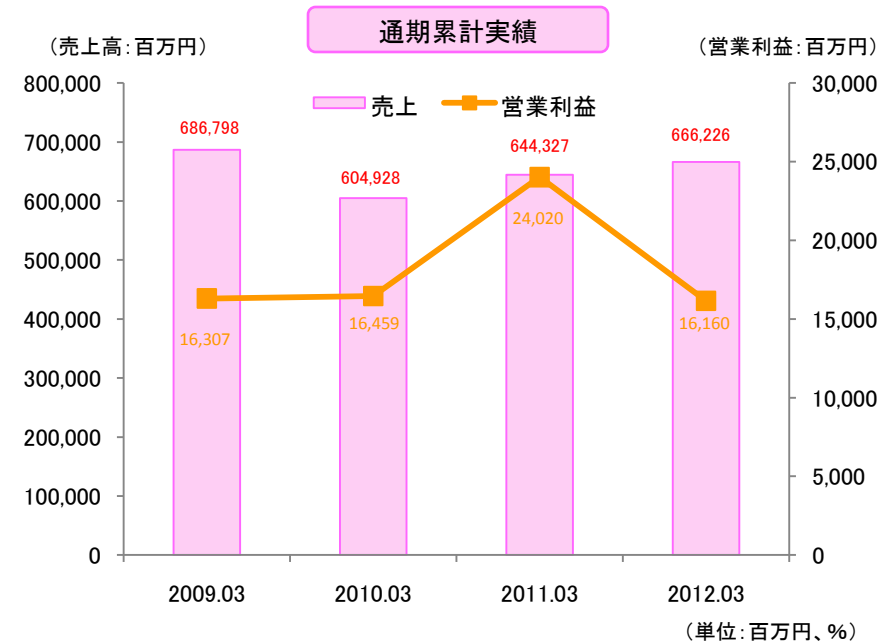
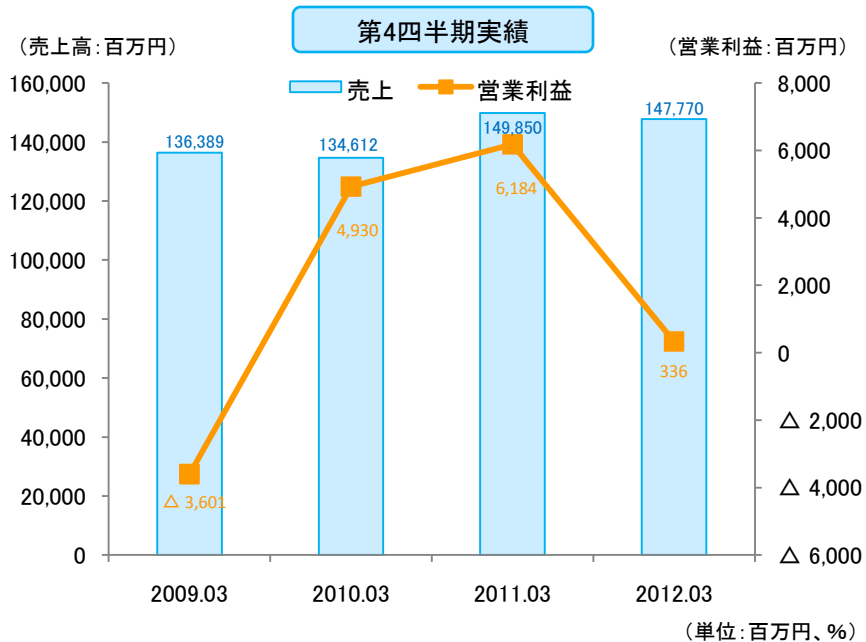
【営業利益増減要因分析】

	2012.03 実績				
	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期累計実績
売上数量増			1億円	1億円	1億円
コスト改善効果	8億円	3億円	16億円	19億円	27億円
SCM効果	8億円	2億円	3億円	5億円	13億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	△12億円	△3億円	0億円	△3億円	△15億円
(内訳)副資材・燃料等	△8億円	△5億円	△4億円	△9億円	△17億円
タイ洪水影響		△4億円	△3億円	△7億円	△7億円
その他	△4億円	△2億円	△2億円	△4億円	△8億円
合計	△8億円	△9億円	11億円	2億円	△6億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

【通期累計実績の増減要因グラフ】





	2011.03 4Q	2012.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	149,850	147,770	△ 2,080	△ 1.4
営業利益	6,184	336	△ 5,848	△ 94.6
営業利益率	4.1	0.2	-	-

	2011.03 通期累計	2012.03 通期累計	前年差	前年比
売上高計	644,327	666,226	21,899	3.4
営業利益	24,020	16,160	△ 7,860	△ 32.7
営業利益率	3.7	2.4	-	-

【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・主に鶏肉の単価下落により減収。

(営業利益)

- ・輸入鶏肉は相場下落により採算性が悪化。
- ・国内生産事業は全体的な「相場安」で、減益。

【通期累計の状況】

(売上高)

- ・上期の相場高や国内・海外の販売が数量増となったことから増収。

(営業利益)

- ・夏場以降の、国内食肉相場下落の影響と、豪州の収益悪化等により減益。

●トピックス(通期累計)

【国内食肉】豚肉販売は好調に推移。鶏肉は夏場以降、供給量が順調であったが暖冬により鍋需要が伸び悩んだことから相場は下落。

【食肉販売】フード会社は量販店チャンネルで伸長し、全体的には通期累計数量(4月～3月)は前年比102.8%で着地。

なお4Q(1月～3月)は数量107.8%で推移(前年比)。

【国内生産】上期は相場高が続いたが、夏場以降、豚・鶏の供給量が増加したことで相場安となり減益。

【輸入食肉】ブラジルからの輸入鶏肉の入荷増加による国内在庫増から、卸売価格の下落に繋がり、採算性が悪化。

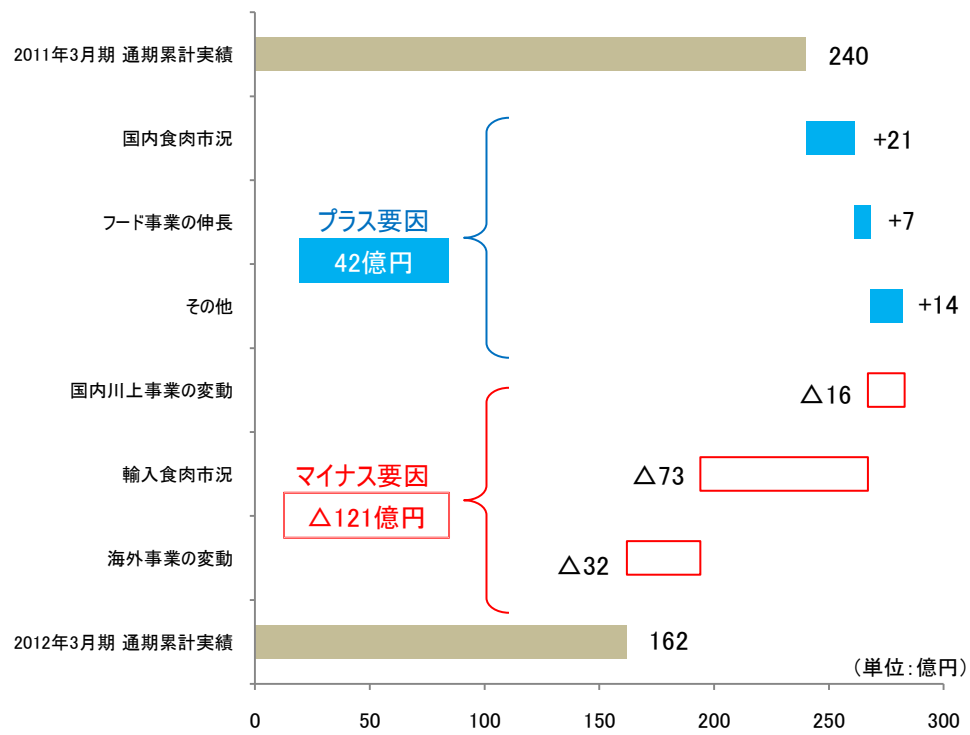
【海外事業】豪州事業は牛の生体価格の上昇や豪ドル高(対米ドル)の影響で年間を通じて採算が悪化。

米州事業はテキサスファームにおいて穀物相場高によるコスト上昇の影響により、減益。

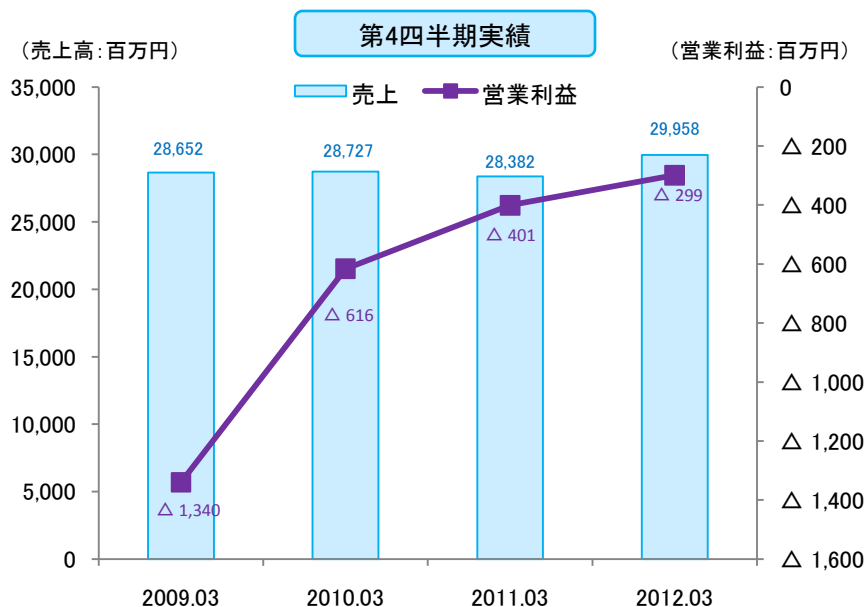
【営業利益増減要因分析】

【通期累計実績の増減要因グラフ】

	2012.03 実績				
	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期累計実績
国内食肉市況	10億円	5億円	6億円	11億円	21億円
フード事業の伸長	2億円	2億円	3億円	5億円	7億円
国内川上事業の変動	6億円	△10億円	△12億円	△22億円	△16億円
輸入食肉市況	△6億円	△25億円	△42億円	△67億円	△73億円
海外事業の変動(豪州、米州)	△17億円	1億円	△15億円	△14億円	△32億円
その他	4億円	8億円	2億円	10億円	14億円
合計	△1億円	△19億円	△58億円	△77億円	△79億円



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます



(単位: 百万円, %)

	2011.03 4Q	2012.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	28,382	29,958	1,576	5.6
営業利益	△ 401	△ 299	102	-
営業利益率	-	-	-	-

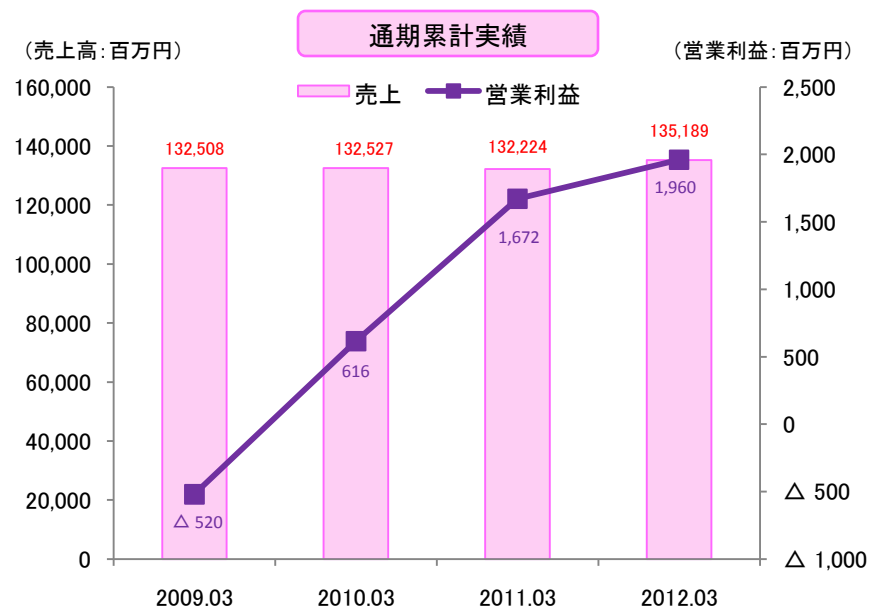
【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、エビ、サーモンなどが量販店チャネルを中心に販売好調により売上が伸長。
- ・乳製品事業は、ヨーグルトが量販店チャネルで苦戦したが、CVSチャネルへのドリンクヨーグルトの売上が大きく伸長。チーズは量販店、CVS向けの販売が好調に推移。

(営業利益)

- ・乳製品事業は、チーズ、ヨーグルトともに昨年を上回るものの、水産事業は、いか・海老の仕入コスト上昇等の影響を受け、利益率が低下。



(単位: 百万円, %)

	2011.03 4Q累計	2012.03 4Q累計	前年差	前年比
売上高計	132,224	135,189	2,965	2.2
営業利益	1,672	1,960	288	17.2
営業利益率	1.3	1.4	-	-

【通期累計の状況】

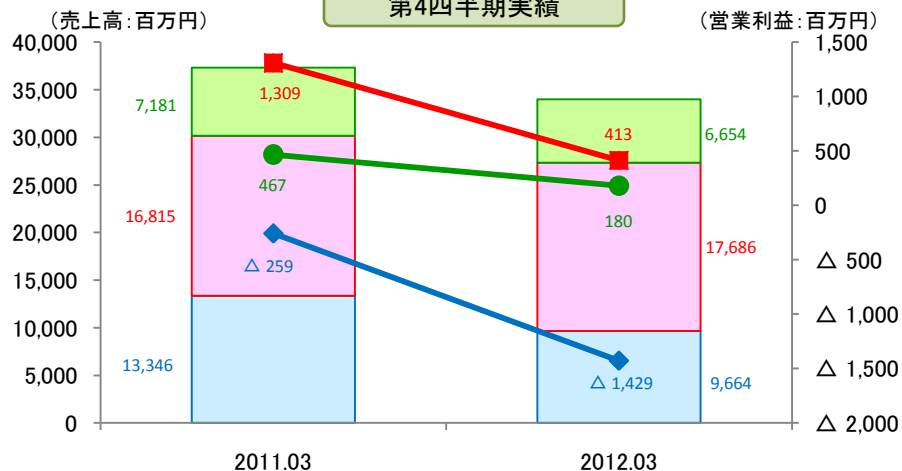
(売上高)

- ・水産事業は、マリンフーズは重点商品や量販店チャネルに対する営業活動の強化に相場高が加わり、売上が伸長。
- ・乳製品事業は、チーズ事業において、食品メーカー向けの販売や今期より本格参入した市販用商品の販売に注力し、順調に伸長。

(営業利益)

- ・水産事業は、水産品の相場上昇を販売価格に転嫁しきれず、利益率が低下。
- ・乳製品事業は、ヨーグルトはドリンクヨーグルトの数量伸長や商品の絞込みにより利益が改善。
チーズは原料価格が安定する中、販売も好調に推移し、増益。

第4四半期実績



■ 豪州 (売上高) ■ 米州 (売上高) ■ その他地域 (売上高)
◆ 豪州 (営業利益) ◆ 米州 (営業利益) ◆ その他地域 (営業利益)

(単位: 百万円)

		2011.03 4Q	2012.03 4Q	前年差	前年比
海外計	売上高	36,745	33,625	△ 3,120	△ 8.5
	営業利益	1,515	△ 832	△ 2,347	-
豪州	売上高	13,346	9,664	△ 3,682	△ 27.6
	営業利益	△ 259	△ 1,429	△ 1,170	-
米州	売上高	16,815	17,686	871	5.2
	営業利益	1,309	413	△ 896	△ 68.4
その他地域	売上高	7,181	6,654	△ 527	△ 7.3
	営業利益	467	180	△ 287	△ 61.5

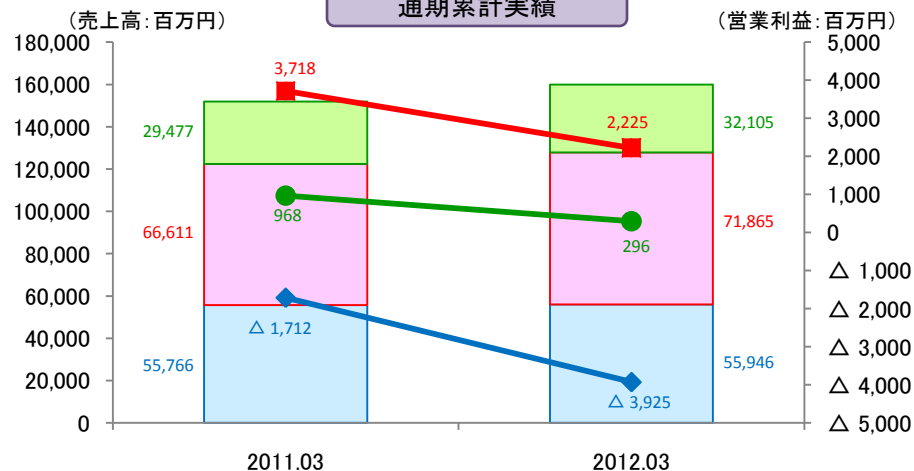
※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

【第4四半期の状況】

- (豪州)
 ・牛の生体価格の上昇、為替環境悪化が継続し、減益幅が拡大。
- (米州)
 ・養豚事業において、穀物相場の高騰が影響し減益。
- (アジア)
 ・洪水被害に遭った工場の再開を目指し復旧作業を継続(4月より一部稼働)。

通期累計実績



■ 豪州 (売上高) ■ 米州 (売上高) ■ その他地域 (売上高)
◆ 豪州 (営業利益) ◆ 米州 (営業利益) ◆ その他地域 (営業利益)

(単位: 百万円)

		2011.03 通期累計	2012.03 通期累計	前年差	前年比
海外計	売上高	148,981	157,721	8,740	5.9
	営業利益	2,966	△ 1,397	△ 4,363	-
豪州	売上高	55,766	55,946	180	0.3
	営業利益	△ 1,712	△ 3,925	△ 2,213	-
米州	売上高	66,611	71,865	5,254	7.9
	営業利益	3,718	2,225	△ 1,493	△ 40.2
その他地域	売上高	29,477	32,105	2,628	8.9
	営業利益	968	296	△ 672	△ 69.4

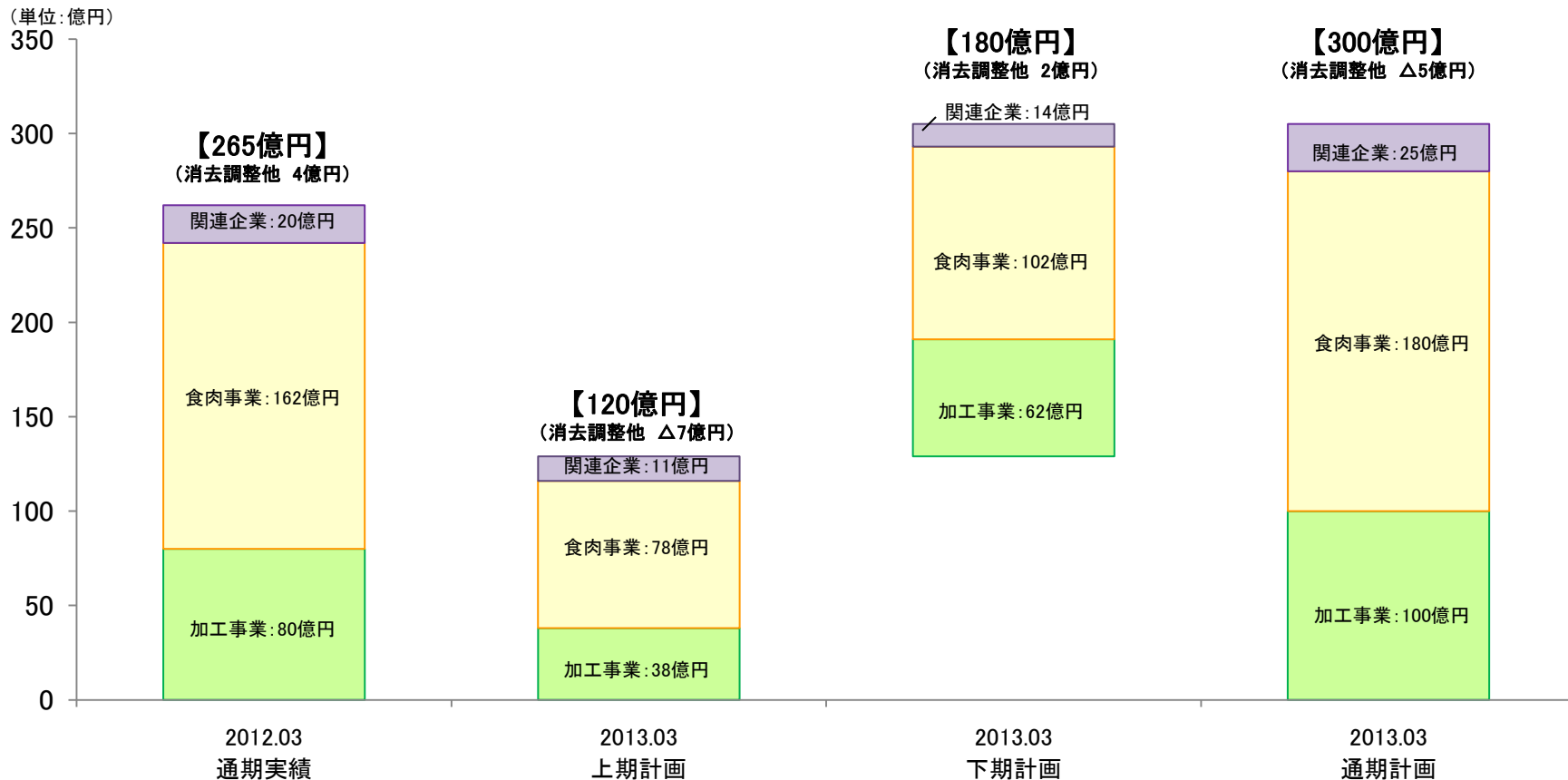
【通期累計の状況】

- (豪州)
 ・豪ドル高(対米ドル)等の影響で減益。
- (米州)
 ・養豚事業において、穀物相場の高騰等が影響し減益。
- (アジア)
 ・タイの洪水が影響し、減益。

Ⅱ. 2013年3月期の計画

1. 2013年3月期 営業利益計画
2. 2013年3月期計画(加工事業本部)
3. 2013年3月期計画(食肉事業本部)
4. 2013年3月期計画(関連企業本部)

1. 2013年3月期 営業利益計画



	2012.03 通期実績			2013.03 上期計画			2013.03 下期計画			2013.03 通期計画		
	2011.03 通期実績		増減	2012.03 上期実績		増減	2012.03 下期実績		増減	2012.03 通期実績		増減
加工事業本部	86億円	80億円	△6億円	24億円	38億円	+14億円	56億円	62億円	+6億円	80億円	100億円	+20億円
食肉事業本部	240億円	162億円	△79億円	87億円	78億円	△9億円	74億円	102億円	+28億円	162億円	180億円	+18億円
関連企業本部	17億円	20億円	+3億円	10億円	11億円	+1億円	9億円	14億円	+5億円	20億円	25億円	+5億円
消去調整他	△11億円	4億円	+15億円	△2億円	△7億円	△5億円	5億円	2億円	△3億円	4億円	△5億円	△9億円
合計	332億円	265億円	△67億円	120億円	120億円	0億円	145億円	180億円	+35億円	265億円	300億円	+35億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

●トピックス(通期累計)

【原料・資材価格の上昇による営業利益への影響】

⇒主原料は前年対比で改善されるが、副資材(特に羊腸等)・燃料等で13億円のマイナス要因。

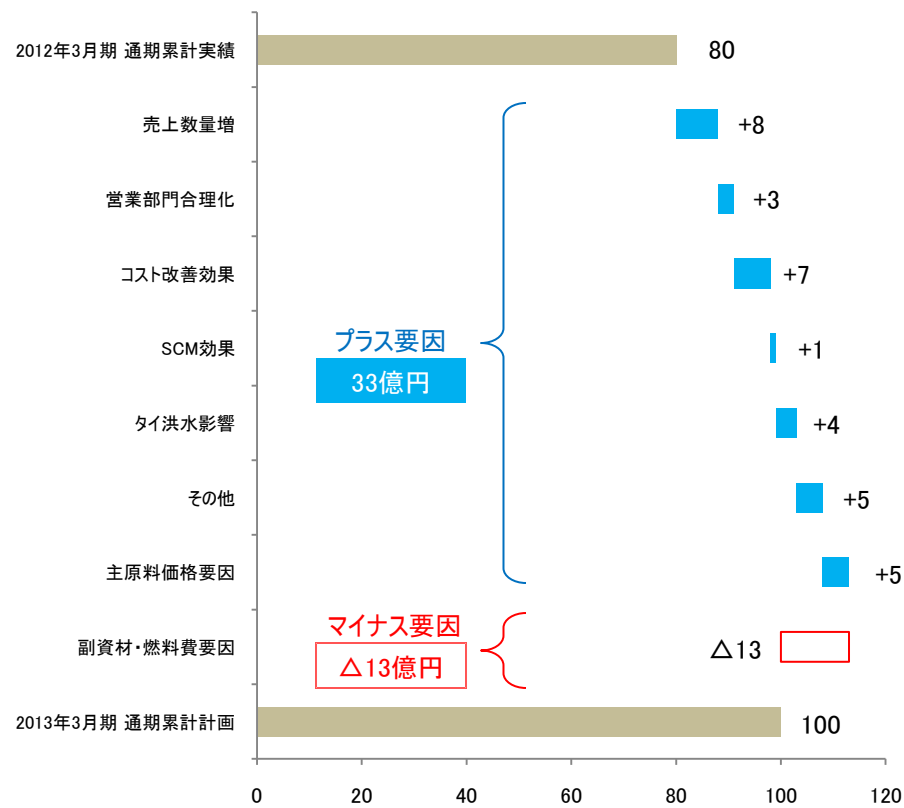
【加工事業本部トータルでの増減額】

⇒副資材・燃料価格の高騰を、コスト改善効果等でカバー。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期累計 実績
売上数量増	2億円	3億円	2億円	1億円	8億円
営業部門合理化	1億円	0億円	1億円	1億円	3億円
コスト改善効果	6億円	7億円	△3億円	△4億円	7億円
SCM効果	0億円	0億円	0億円	0億円	1億円
タイ洪水影響	△3億円	0億円	3億円	4億円	4億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	1億円	2億円	2億円	0億円	5億円
(内訳)副資材・燃料等	△5億円	△4億円	△2億円	△2億円	△13億円
その他	1億円	2億円	2億円	0億円	5億円
合計	3億円	11億円	6億円	0億円	20億円

【通期累計計画の増減要因グラフ】



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

●ギフト売上拡大施策

- ・中元、歳暮ギフトともに103%を目標(前年比、個数ベース)。
- ・旗艦ブランドの『美ノ国』を中心に、販促展開(TVCM、雑誌広告)。

(参考)

- ・フラッグシップの「美ノ国」は前年比120%以上を目指す。

【(参考)ギフト販売個数 実績と2013年3月期販売計画】

(単位:千個)

	2012.03 実績		2013.03 計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,003	102%	2,060	103%
歳暮ギフト販売個数	4,799	98%	4,950	103%
合計	6,802	99%	7,010	103%

※2012.03実績には、新たに取り組みを始めた「惣菜ギフト」を含む

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・2大新製品とシャウエッセン等を拡販し、収益改善を図る。
- (『森の薫り新あらびきウインナー』、『彩りキッチン』)

②加工食品

- ・重点ブランドの集中化と、商品リニューアルを中心に収益改善を進める。

【(参考) 主要ブランド商品売上高実績と計画(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	前期実績	今期計画	加工食品	前期実績	今期計画
シャウエッセン	100%	101%	石窯工房群	98%	104%
森の薫り新あらびきウインナー	123%	120%	中華名菜群	101%	103%
彩りキッチン(ロース)	136%	120%	プリフライ群	99%	102%
ロースハム群	107%	108%	ハンバーグ・ミートボール群	105%	102%
ベーコン群	111%	108%	カレー群	114%	108%

●チャンネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・ハム・ソーセージは、『シャウエッセン』、『森の薫り』、『彩りキッチン』の3ブランドの拡販を中心に、売上拡大を図る。
- ・加工食品は、主力ブランド商品を中心に拡大を図る。

【(参考)チャンネル別 売上高伸び率(対前年同期比)】

②業務用

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともにライン効率を高めるために、中食・外食の販売強化を図る。

	前期実績			今期計画		
	コンシューマ	業務用	計	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	104%	98%	102%	103%	103%	103%
加工食品	99%	100%	100%	103%	103%	103%

●トピックス(通期累計)

【国内食肉】国内3畜種(牛・豚・鶏)の売上拡大を図る。

【食肉販売】フード会社は量販店チャネルでのシェア拡大を図る。全体では数量伸長105%(前年比)を目標に取り組む。

【国内生産】川上部門の強化を実施。鶏肉は相場の落ち込みをコストダウン施策でカバー。豚肉は事故率改善により生産コスト低減を図る。

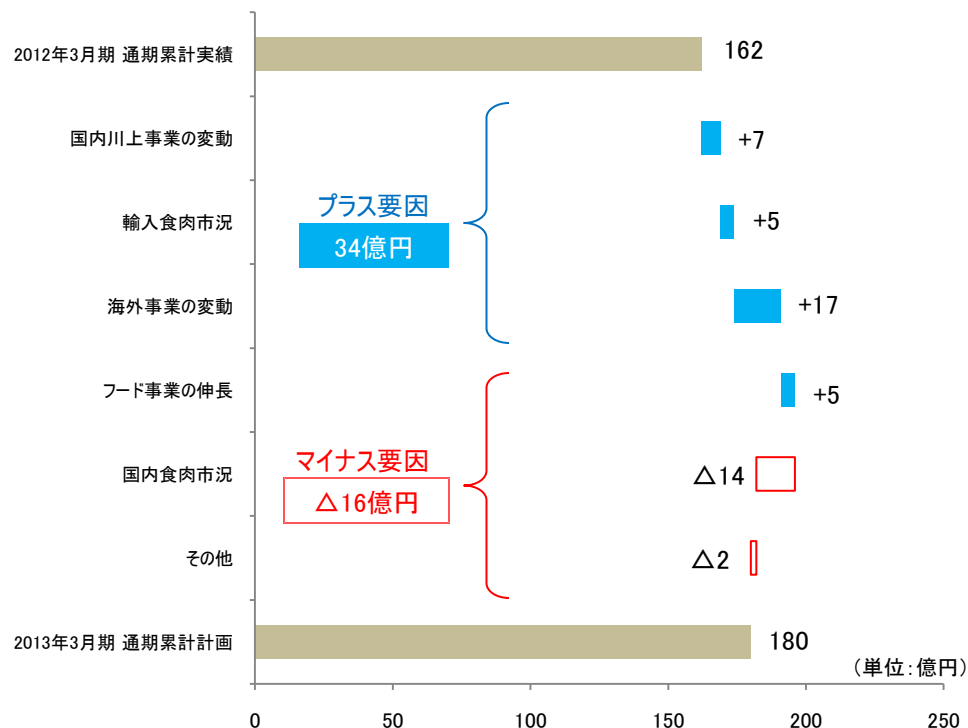
【輸入食肉】特に前期において採算が悪化した鶏肉について、在庫の適正化により収支改善を図る。

【海外事業】豪州事業は、対日向け商品の見直し、生産事業の改革、新興国向け販売の拡充等で収支改善を目指す。

【営業利益増減要因分析】

【通期累計計画の増減要因グラフ】

	2013.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期累計 計画
国内川上事業の変動	△7億円	△4億円	4億円	14億円	7億円
輸入食肉市況	△19億円	6億円	6億円	11億円	5億円
海外事業の変動(豪州、米州)	3億円	10億円	2億円	2億円	17億円
フード事業の伸長	3億円	4億円	△2億円	0億円	5億円
国内食肉市況	△3億円	△2億円	△5億円	△4億円	△14億円
その他	0億円	0億円	△1億円	△1億円	△2億円
合計	△23億円	14億円	4億円	23億円	18億円



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

●海外事業

①豪州事業の改革

- ・原価低減による利益率の改善と、新商品導入等により、日本向け販売の再構築を行なう。
- また、豪州国内及びアジアへの販売を強化。

②米州事業

- ・米国における牛・豚の飼養頭数減少に伴い、食肉相場は高値圏での推移が見込まれる。
- ・養豚事業では飼料価格の高騰もあり、品種改良や生産コスト削減を継続。

●国内生産事業

①飼料価格

- ・価格上昇の見通し。

②国内ファーム事業

【養豚】

- ・豚肉相場は出荷頭数の増加が見込まれることから、安値で推移する見通し。生産コスト低減効果で採算改善を見込む。

【養鶏】

- ・供給量の増加等で相場は当面低調の見通し。生産性の改善等により生産コスト低減を図る。

●食肉販売(フード会社)

- ・量販店への更なる強化と、国内3畜種(牛・豚・鶏)の拡販を図り、数量拡大を目指す。

●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・商品開発力強化による国内自社工場製品の拡販。
- ・重点商品である、海老・サーモン関連商材の拡販によるシェア拡大。
- ・量販店チャネルに対する提案営業の実施による売上の伸長。

(宝幸)

- ・原料事業は量販店、外食への取り組み強化による売上の伸長。
- ・常温食品事業(缶詰)は、生産能力を増強する八戸工場製品の拡販。

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2012.03 通期累計実績
自社工場製品	8,606トン
対前年比	103%

【(参考) マリンフーズ(株) チャネル別売上金額伸び率】

	対前年比
	2012.03 通期累計実績
量販店チャネル	106%
外食チャネル	101%

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・主力チャネルへの提案営業強化による売上の伸長。
- ・商品ラインアップ強化によるコンシューマ商品の拡販。

(ヨーグルト)

- ・PB商品の開発強化とドリンクヨーグルトの増産・拡販。
- ・主力のバニラヨーグルト商品群を中心とした量販店チャネル、生協チャネルの攻略。

【(参考) 乳製品売上高伸び率】

	対前年比
	2012.03 通期累計実績
チーズ	107%
ヨーグルト	105%

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、産地国の生産数量が安定していることから、価格は安定的に推移。
- ・ヨーグルト原料は、国産の脱脂粉乳の需給状況が厳しいことから、価格は高値で推移。
- ・海外粉乳においては、生産が安定していることから、価格も安定的に推移。

Ⅲ. 2012年3月期 期末財務データ

1. 2012年3月期連結業績概要及び2013年3月期計画
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他収益、その他費用
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュ・フロー、経営指標

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2012年3月期実績						2013年3月期計画					
	上期 実績	前年比	下期 実績	前年比	通期 実績	前年比	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
売上高	506,367	4.8	511,417	1.0	1,017,784	2.9	515,000	1.7	525,000	2.7	1,040,000	2.2
ハム・ソーセージ	65,628	1.5	71,658	2.0	137,286	1.7	67,000	2.1	73,000	1.9	140,000	2.0
加工食品	99,980	2.6	103,187	2.9	203,167	2.7	102,000	2.0	104,000	0.8	206,000	1.4
食肉	277,107	6.7	266,947	△ 1.3	544,054	2.6	280,500	1.2	277,000	3.8	557,500	2.5
牛肉	101,883	9.1	95,611	△ 3.4	197,494	2.7	102,500	0.6	100,500	5.1	203,000	2.8
豚肉	101,123	3.9	100,440	2.0	201,563	3.0	103,000	1.9	102,500	2.1	205,500	2.0
鶏肉	62,009	9.2	60,864	△ 2.6	122,873	3.0	63,000	1.6	63,500	4.3	126,500	3.0
その他食肉	12,092	△ 0.6	10,032	△ 5.3	22,124	△ 2.8	12,000	△ 0.8	10,500	4.7	22,500	1.7
水産	39,135	0.4	43,701	5.4	82,836	3.0	40,000	2.2	44,000	0.7	84,000	1.4
乳製品	11,343	3.7	11,918	8.7	23,261	6.2	12,000	5.8	13,000	9.1	25,000	7.5
その他	13,174	15.4	14,006	10.2	27,180	12.6	13,500	2.5	14,000	△ 0.0	27,500	1.2
売上原価	411,093	6.3	411,129	3.0	822,222	4.6						
売上総利益	95,274	△ 1.1	100,288	△ 6.4	195,562	△ 3.9						
売上総利益率	18.8%	-	19.6%	-	19.2%	-						
販売費及び一般管理費	83,272	△ 0.2	85,777	△ 1.2	169,049	△ 0.7						
営業利益	12,002	△ 7.1	14,511	△ 28.4	26,513	△ 20.1	12,000	△ 0.0	18,000	24.0	30,000	13.2
税引前利益	9,577	△ 15.7	17,189	△ 5.4	26,766	△ 9.3	7,200	△ 24.8	15,800	△ 8.1	23,000	△ 14.1
当社株主帰属当期純利益	4,799	△ 29.2	6,856	△ 31.1	11,655	△ 30.3	3,500	△ 27.1	8,500	24.0	12,000	3.0

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2011年3月期 (対 2010年3月期比)				2012年3月期 (対 2011年3月期比)			
	4Q		通期累計		4Q		通期累計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	△ 2.0	△ 1.5	0.1	△ 1.9	7.0	4.9	3.0	1.7
加工食品	9.1	9.6	8.4	4.7	1.9	3.2	1.8	2.7
食肉	1.3	10.3	2.9	6.9	6.8	△ 2.6	3.4	2.6
牛肉	2.8	18.3	2.9	6.2	3.2	△ 5.0	5.5	2.7
豚肉	3.1	7.2	1.0	5.4	8.2	2.5	4.3	3.0
鶏肉	0.5	11.2	6.3	12.8	8.2	△ 6.0	0.8	3.0
その他食肉	△ 22.4	△ 20.6	△ 6.1	△ 3.1	2.7	△ 11.6	0.5	△ 2.8

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期実績			2013年3月期計画					
	上期	下期	通期	上期	前年比	下期	前年比	通期	前年比
	累計実績	累計実績	累計実績	累計計画		累計計画		累計計画	
国内売上高	464,720	474,804	939,524	472,500	1.7	487,500	2.7	960,000	2.2
外部顧客売上高	464,279	474,567	938,846	472,000	1.7	487,000	2.6	959,000	2.1
セグメント間内部売上高	441	237	678	500	13.4	500	111.0	1,000	47.5
国内営業利益	12,746	14,658	27,404	11,700	△ 8.2	17,300	18.0	29,000	5.8
国内売上高営業利益率	2.7%	3.1%	2.9%	2.5%	-	3.5%	-	3.0%	-
海外売上高	85,896	71,825	157,721	87,500	1.9	73,500	2.3	161,000	2.1
外部顧客売上高	42,088	36,850	78,938	43,000	2.2	38,000	3.1	81,000	2.6
セグメント間内部売上高	43,808	34,975	78,783	44,500	1.6	35,500	1.5	80,000	1.5
海外営業利益	△ 894	△ 503	△ 1,397	300	-	700	-	1,000	-
海外売上高営業利益率	△ 1.0%	△ 0.7%	△ 0.9%	0.3%	-	1.0%	-	0.6%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期 通期累計実績	通期累計実績	2012年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
★① < 販管費 > 販売費および一般管理費	170,255	169,049	△ 0.7	△ 1,206
人件費	66,719	65,933	△ 1.2	△ 786
★② 広告宣伝費	12,471	10,868	△ 12.9	△ 1,603
★③ 物流費	37,981	39,304	3.5	1,323
その他	53,084	52,944	△ 0.3	△ 140

主な増減要因

- ★① 販管費 売上高販管比率は 17.2% から 16.6% へ 0.6ポイント低下。
- ★② 広告宣伝費 販売促進費等の減少により約16億円減少。
- ★③ 物流費 売上数量拡大により運賃は約13億円増加。

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期 通期累計実績	通期累計実績	2012年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
プロ野球選手移籍金	-	4,017	-	4,017
その他収益合計	1,030	905	△ 12.1	△ 125
受取利益・配当金	548	848	54.7	300
その他	482	57	△ 88.2	△ 425

★①

支払利息	2,125	1,727	△ 18.7	△ 398
★① その他費用合計	2,557	2,942	15.1	385
有価証券評価損・売却損	905	303	△ 66.5	△ 602
固定資産減損	1,422	2,213	55.6	791
特別退職金	71	107	50.7	36
為替差損	106	279	163.2	173
その他	53	40	△ 24.5	△ 13

主な増減要因

- ★①その他費用 固定資産減損損失等で、約4億円の増加。

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2012 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》		2011年3月期 期末実績	2012年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	590,688	589,125	△ 0.3	△ 1,563
	現金及び現金同等物	51,409	63,651	23.8	12,242
★②	売上債権	104,501	119,959	14.8	15,458
★③	棚卸資産	107,599	112,516	4.6	4,917
	有形固定資産	219,324	213,663	△ 2.6	△ 5,661
	投資及びその他の資産	27,764	28,889	4.1	1,125
	長期繰延税金資産	15,993	13,368	△ 16.4	△ 2,625
	負債合計	307,484	296,857	△ 3.5	△ 10,627
	支払手形及び買掛金	90,317	96,822	7.2	6,505
★④	有利子負債	155,263	139,187	△ 10.4	△ 16,076
	退職金及び年金債務	17,581	17,170	△ 2.3	△ 411
	当社株主資本	281,067	290,020	3.2	8,953
	非支配持分	2,137	2,248	5.2	111
	資本合計	283,204	292,268	3.2	9,064

主な増減要因

- ★① 資産合計
- ★② 売上債権
- ★③ 棚卸資産
- ★④ 有利子負債

②③を含めて約16億円の減少。

売上増及び期末日休日等により前期末比、約155億円の増加。

ハム・ソーセージ、加工食品、水産の原材料の増加により前期末比、約49億円の増加。

借入金の返済等より約160億円の減少。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期実績	対前年増減率	対前年増減額	2013年3月期 通期計画
	設備投資額	17,189	19,487	13.4	2,298
生産設備	9,088	8,843	△ 2.7	△ 245	12,600
販売・物流設備	1,644	2,390	45.4	746	12,700
ファーム・処理設備	3,406	4,871	43.0	1,465	8,100
海外事業設備	1,589	2,006	26.2	417	4,800
その他設備	1,462	1,377	△ 5.8	△ 85	4,800
減価償却費	24,115	23,756	△ 1.5	△ 359	22,000

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2011年3月期	2012年3月期		2010年～2012年 3年間累計実績
	期末実績	期末実績	対前年増減額	
★① 営業活動キャッシュ・フロー	36,761	26,432	△ 10,329	130,641
投資活動キャッシュ・フロー	8,745	9,750	1,005	△ 41,639
財務活動キャッシュ・フロー	△ 36,951	△ 23,745	13,206	△ 65,923

主な増減要因

★① 営業キャッシュ・フローの主な増減要因(対前年)	2011年3月期	2012年3月期	増減
	通期実績	通期実績	
当期純利益	16,925	11,801	△5,124
受取手形及び売掛金の増	△4,230	△15,532	△11,302
棚卸資産の増	△7,529	△4,567	2,962

※「受取手形及び売掛金の増」の構成要因は、売上増や期末日休日等によるもの

(単位:百万円)

《<B/S 経営指標等>>	2011年3月期	2012年3月期		新中期経営計画パートⅢ 2012年3月期当初計画
	期末実績	期末実績	対前年増減額	
ROA(税引前)	4.9%	4.5%	-	4.8%
株主資本比率	47.6%	49.2%	-	49.4%
有利子負債	155,263	139,187	△ 16,076	170,000
D/Eレシオ(倍)	0.55	0.48	-	0.54

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。